

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ゼミナールⅣ(英語)[Grammar Ⅳ②] Semiar Ⅳ (English)[Grammar Ⅳ②]		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	Grammar I・II・IIIを修了した学生。または個別にレベル判定試験を受験し履修許可を得た学生。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
Yumiko Tsutsumi	The 3rd Floor of Lecture Building	From 9:00 to 18:00 on Monday to Friday except for Wednesday		授業中に指示します
授業の概要				
Students will review grammar learned in Grammar III, as well as learn more complicated grammar.				
授業の目標				
This course teaches students how to conjugate verbs and use the correct verb form in a variety of situations. It will also teach students how to use active and passive forms, modal verbs, infinitives and gerunds, and sentences with two objects.				
授業の方法				
Students will learn grammar through a series of lectures and grammar focused activities.				
学習の成果 (学習成果)				
Students will be able to use causative structures, phrases of ability, permission, obligation, certainty, probability, passive structures, and will be able to indentify differences in meaning between present perfect, present perfect continuous, simple past, and past perfect sentences.				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	Oxford English Grammar Course: Section 1 (p.10-11): Homework - Oxford Practice Grammar (p.48-49)②			
第2回目	Oxford English Grammar Course: Section 2 (p.16-17): Homework - Oxford Practice Grammar (p.103)④			
第3回目	Oxford English Grammar Course: Section 2 (p.20-21): Homework - Oxford Practice Grammar (p.105)⑥			
第4回目	Oxford English Grammar Course: Section 3 (p.31-33): Homework - Oxford Practice Grammar (p.24-25)⑧			
第5回目	Oxford English Grammar Course: Section 4 (p.44-46): Homework - Oxford Practice Grammar (p.18-19)⑩			
第6回目	Oxford English Grammar Course: Section 4 (p.50-52): Homework - Oxford Practice Grammar (p.23)⑫			

第7回目	Review for Midterm Exam: No homework - optional review sheets⑭
第8回目	Oxford English Grammar Course: Section 5 (p.59-61): Homework - Oxford Practice Grammar (p.34)⑯
第9回目	Oxford English Grammar Course: Section 5 (p.68-70): Homework - Oxford Practice Grammar (p.41)⑰
第10回目	Oxford English Grammar Course: Section 6 (p.78-80)[QUIZ 3]:Homework-Oxford Practice Grammar(p.60-61)
第11回目	Oxford English Grammar Course: Section 6 (p.83-84): Homework - Oxford Practice Grammar (p.64-65)⑳
第12回目	Oxford English Grammar Course: Section 7 (p.102-104): Homework - Oxford Practice Grammar (p.145)㉑
第13回目	Oxford English Grammar Course: Section 8 (p.112-114): Homework - Oxford Practice Grammar (p.130-131)
第14回目	Oxford English Grammar Course: Section 8 (p.117-119): Homework - Oxford Practice Grammar (p.6-7) ㉒
第15回目	Review for Final Exam㉓

事前・事後学習 Do tasks instructed in the previous lesson and review for your next class

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	Participation is based on preparation, use of English, classroom behavior, and attendance.
レポート	15%	Students are expected to submit their homework on time each week.
調査報告書		
小テスト	10%	5 short quizzes will be given to test knowledge on the covered topics.
試験	55%	A midterm exam worth 25% and a final exam worth 30% will be administered.
発表内容 (態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

- Oxford English Grammar Course (Advanced) (green) [1st half]
- Oxford Practice Grammar (Advanced) (light green)

履修上の留意点・ルール

- Phones are to be switched off, or in manner mode, and put away during class time. No phone use during class.
- The teacher may change the syllabus at any time, for any reason.

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ゼミナールⅣ seminar Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(「健康運動実践指導者」「スポーツプログラマー」資格取得者科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
鈴木 愛勇	講義棟1F 国際交流センター	随時		授業中に指示します
授業の概要				
様々なスポーツ種類も類型に基づき個人スポーツ、球技、武道の各種目の観戦を行う。その内容について、運動類型を考慮しながら反省的分析を試みる。それらについて、報告書に記載し、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的理論を通じて、スポーツ観戦に役立つ能力を養う。				
授業の目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>異種目のスポーツにおける試合の管理、運営や安全対策について、競技特性や様々な観点に基づき比較、分析し説明することができる。</li> <li>自身の専門種目の試合運営等において実施することができる。</li> </ul>				
授業の方法				
授業は演習形式で行う。また試合を観戦してまとめたレポートを発表し、それを題材にディスカッションを行う。				
学習の成果（学習成果）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の専門競技種目での大会運営方法を説明できる。</li> <li>自身の専門競技種目以外での大会運営方法を説明できる。</li> <li>公式戦や大会観戦での試合の管理、安全対策などを説明できる。</li> </ul>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業における注意、成績評価方法、グループ分け）			
第2回目	スポーツ観戦の事前学習①			
第3回目	スポーツ観戦の事前学習②			
第4回目	スポーツ観戦の事前学習③			
第5回目	スポーツ観戦の事前学習④			
第6回目	発表準備①			

第7回目	発表準備②	
第8回目	発表・スポーツ観察演習事前調査書提出	
第9回目	スポーツ観戦の事前学習⑤	
第10回目	スポーツ観戦の事前学習⑥	
第11回目	スポーツ観戦の事前学習⑦	
第12回目	発表準備③	
第13回目	発表準備④	
第14回目	発表・スポーツ観察演習報告書提出	
第15回目	まとめ（準備：これまでの授業内容をまとめておく）	
事前・事後学習	各授業前後に指示します。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	授業に積極的に取り組み、必要なことはノートに記入している。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	PowerPointによる発表内容によって評価する。
その他		
教科書と参考図書		
特になし		
履修上の留意点・ルール		
私語、飲食物の持ち込み、携帯電話禁止。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ゼミナールIV Seminar IV		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(公務員試験)	卒業後の進路として(地方)公務員を志望していること。 ゼミナールI~IIIを履修済みである
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
キャリア教育、インターンシップ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
川副令	講義棟2階	初回授業で発表する		授業中に指示します
授業の概要				
地方公務員を志望する学生の学習支援を目的とする。2次試験(作文、面接、集団討論)を想定した練習を行う。市役所職員試験の一般的なスケジュール(9月下旬1次試験実施、10月上旬1次試験結果発表、10月中旬~下旬2次試験実施)を想定し、それに練習が間に合うよう、変則的な日程で授業を進めることがある。受講生は状況に応じた仕方で文語と口語を使い分け、筋道の立った議論を展開し、文章構成全体を分かりやすいものにすることができるようになる。				
授業の目標				
(1) 作文に関しては、叙述の順序を工夫する、事実と意見の区別を明確にするなどの方法により、文章全体の主旨を読み手に分かりやすく伝えることができるようになる。また、主語と述語を首尾一貫させる、過剰に長い形容句は用いないなど、基本的な文章作法を踏まえた、分かりやすい文を書くことができるようになる。(2) 面接に関しては、質問されやすい事項を事前に整理して、面接官の質問の意図を素早く把握できるようにする。また、質問に対して適切な言葉遣いで、要領を得た回答ができるようになる。				
授業の方法				
作文試験については過去の出題例に取り組むほか、その傾向を踏まえて最近の時事問題を要約し、意見を付する練習を行う。				
学習の成果(学習成果)				
読み手に伝わりやすい、明快な文章を書くことができるようになる。面接官の質問の意図を素早く把握して、適切な言葉遣いで、要領を得た回答ができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	作文試験と面接試験の概要			
第2回目	作文練習1			
第3回目	作文練習2			
第4回目	作文練習3			
第5回目	面接練習1			
第6回目	集団討論練習1			

第7回目	作文練習4
第8回目	作文練習5
第9回目	面接練習2
第10回目	集団討論練習2
第11回目	時事問題研究1：地方社会の諸問題（テーマ決定、ペア決定）
第12回目	時事問題研究2：日本の社会保障
第13回目	時事問題研究3：中間報告会
第14回目	時事問題研究4：マイノリティー問題
第15回目	時事問題研究5：最終発表会
事前・事後学習	事後学習：各自練習問題に取り組むこと。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	出席状況のほか、毎回の問題への取り組み、質疑応答への参加等を総合的に評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	担当問題について、正解をしっかりと理解しているか、解説の準備が十分にできているか、他の参加者に伝わるよう適切な仕方での解説ができているか、を評価する。
その他		

教科書と参考図書

推薦参考図書：大原瞳『公務員試験のキャラクリ』光文社新書2011年、太田肇『公務員革命ー彼らの〈やる気〉が地域社会を変える』ちくま新書2011年。その他の教材、参考図書は、授業中に紹介する。

履修上の留意点・ルール

初回授業で説明する。